

2027年国際園芸博覧会 環境影響評価方法書

説明会

令和4年 6月

一般社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

説明会次第

- 1 環境影響評価制度について
- 2 対象事業の概要について
- 3 調査、予測及び評価について
- 4 図書の縦覧及び意見書の提出について

1 環境影響評価制度について

環境影響評価制度とは

環境影響評価(環境アセスメント)制度とは・・・

事業が環境に及ぼす影響について

- ・ 事前に調査、予測、評価
- ・ その結果を公表
- ・ 市民等から意見を聞くなどの手続きを実施

適切な環境保全対策等を検討し、事業計画に反映させる制度

「横浜市環境影響評価条例」に基づき実施

各図書の内容

配慮書

事業の計画を立案するにあたり、環境の保全について配慮すべき事項の検討を行い、その内容を記載したもの

方法書

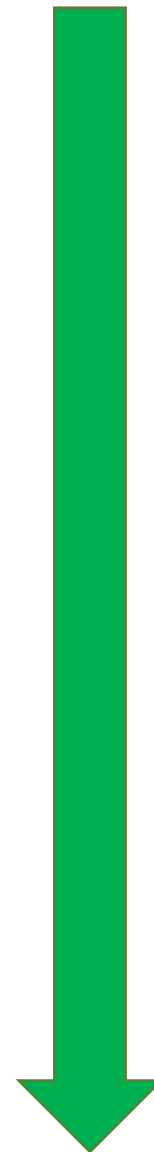
環境への影響を調査、予測、評価する項目や、その手法を記載したもの

準備書

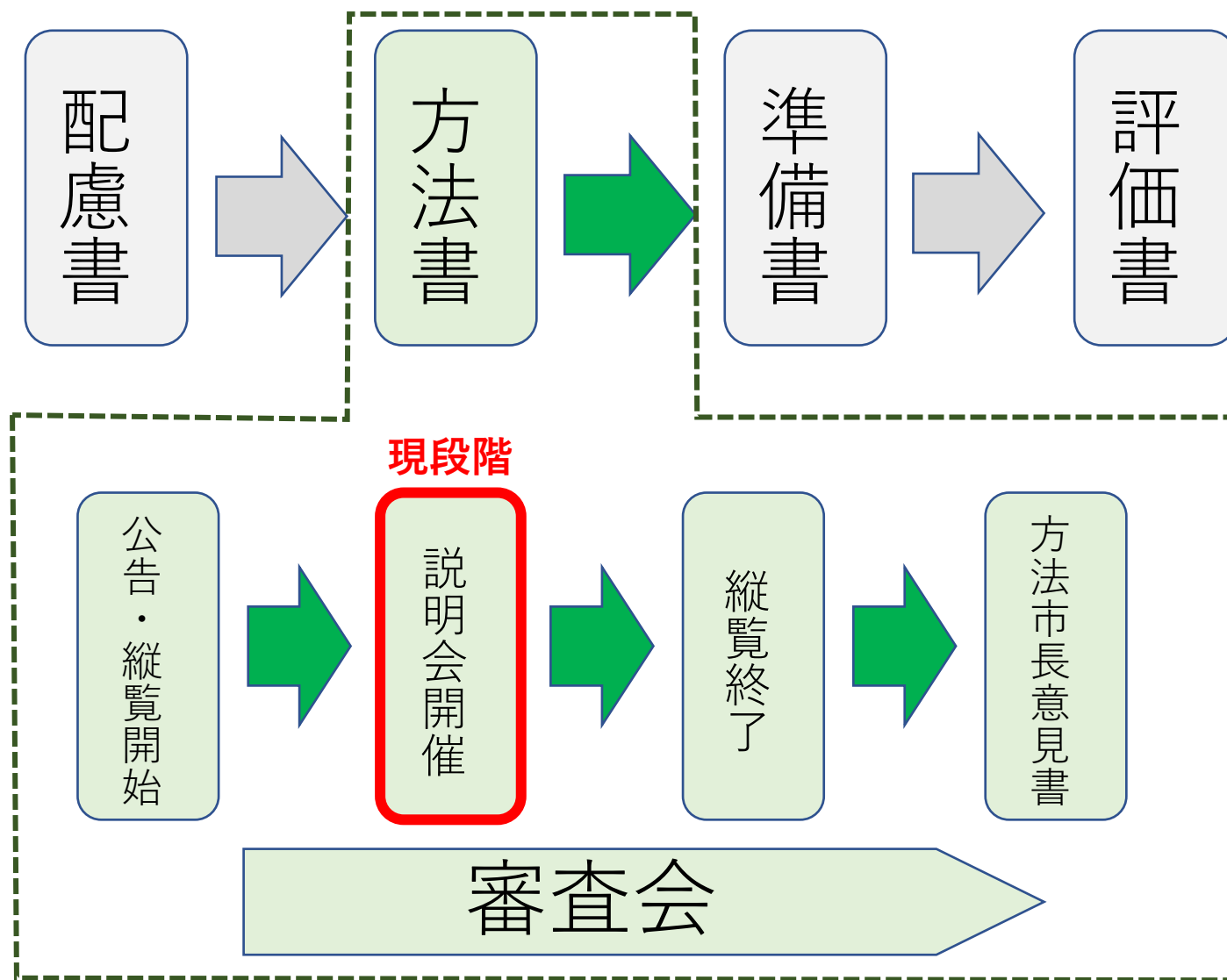
方法書に基づき、環境への影響を調査、予測、評価した結果等を記載したもの

評価書

市長や住民等の意見を踏まえ、準備書の内容に検討を加え、最終的な評価を記載したもの



環境影響評価の手続きの流れ

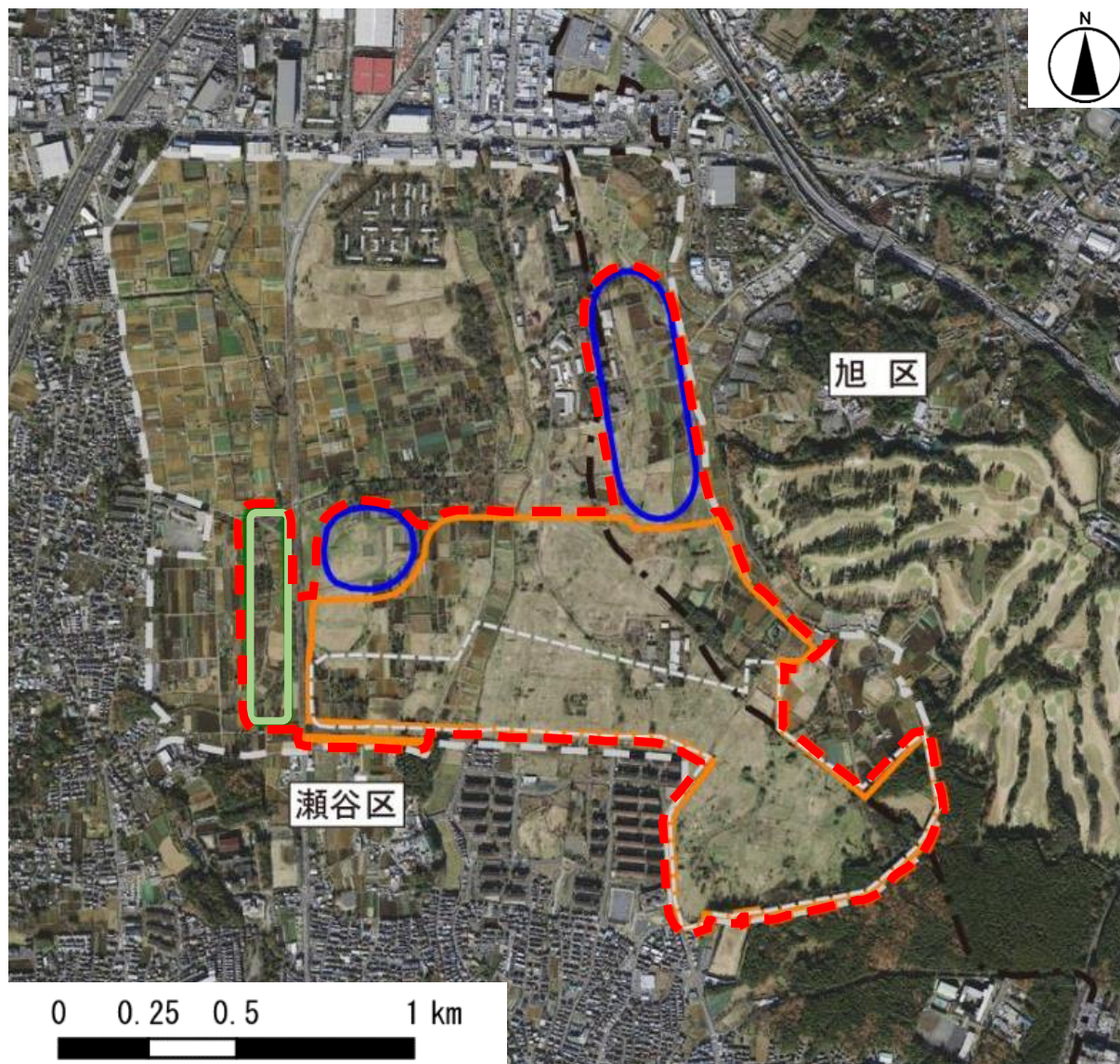


2 対象事業の概要について

対象事業の概要

方法書P.2-1

事業者 の氏名 及び 住所	名称	(一社) 2027年国際園芸博覧会協会
	代表者の 氏名	代表理事 十倉 雅和
	主たる 事務所の 所在地	横浜市中区本町4丁目43番地 A-PLACE馬 車道4階
対象事業の名称		2027年国際園芸博覧会
対象事業の 種類、規模		開発行為に係る事業（第1分類事業） 対象事業実施区域の面積：約100.0ha （会場区域 約80.0ha、駐車場区域及び バスターミナル 約20.0ha）
対象事業実施区域		横浜市旭区上川井町、瀬谷区瀬谷町



-  対象事業実施区域
-  土地区画整理事業実施区域
-  公園整備事業実施区域
-  会場区域
-  駐車場区域
-  バスターミナル
-  区界

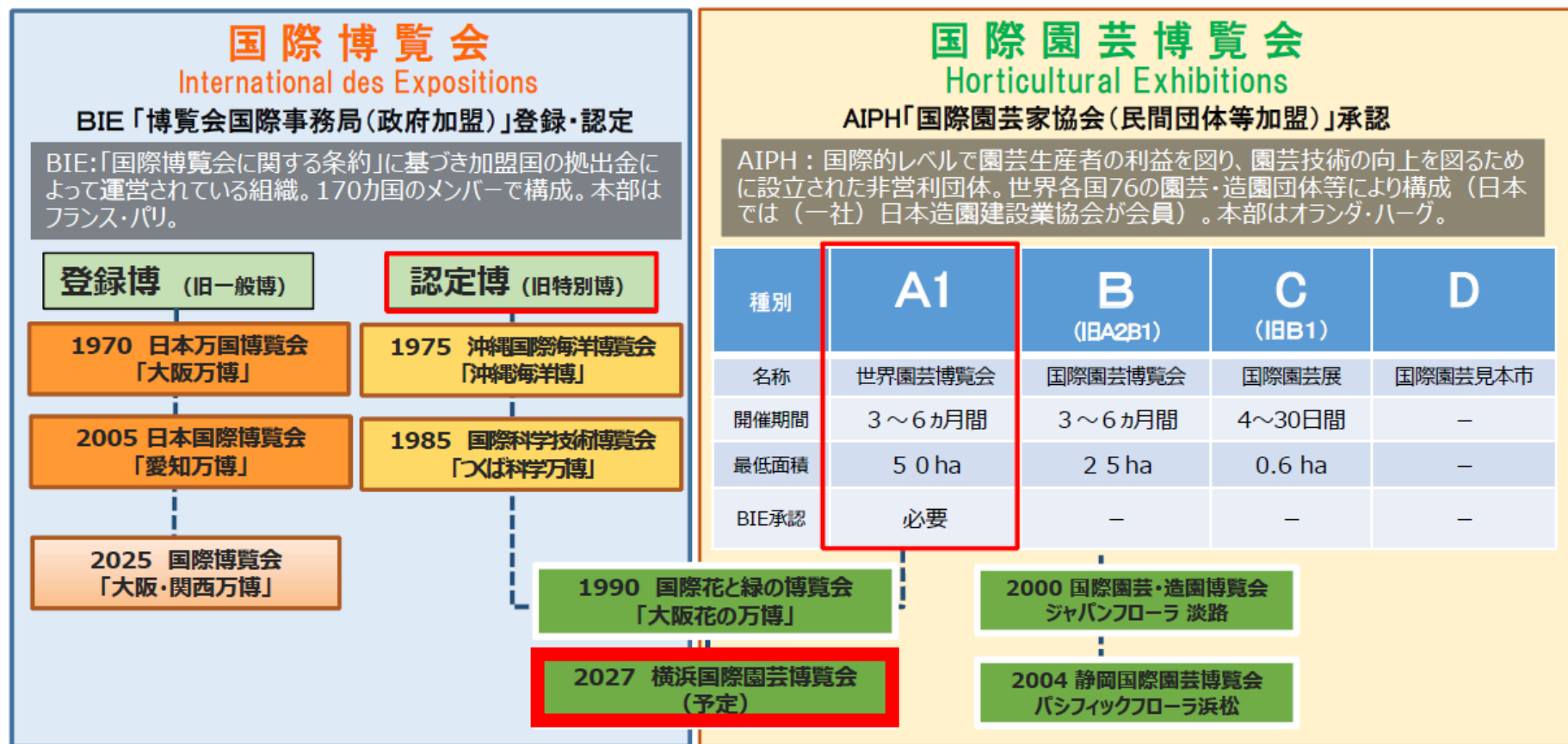
■ 対象事業の目的

- 国際的な園芸文化の普及
- 花と緑のあふれる暮らし
- 地域・経済の創造
- 社会的な課題解決等への貢献

また、横浜が体現するグリーンシティを世界に発信し、国内外の都市に共通する課題の解決につなげることを目指す。

■ 国際園芸博覧会

- ・ 国際園芸家協会(AIPH)の承認を得て開催
- ・ 最上位のA 1 クラスは博覧会国際事務局 (BIE) の認定が必要



(1) テーマ

「幸せを創る明日の風景
～Scenery of The Future for Happiness～」

サブテーマ：テーマを具現化するための切り口

自然との調和
Co-adaptation

緑や農による共存
Co-existence

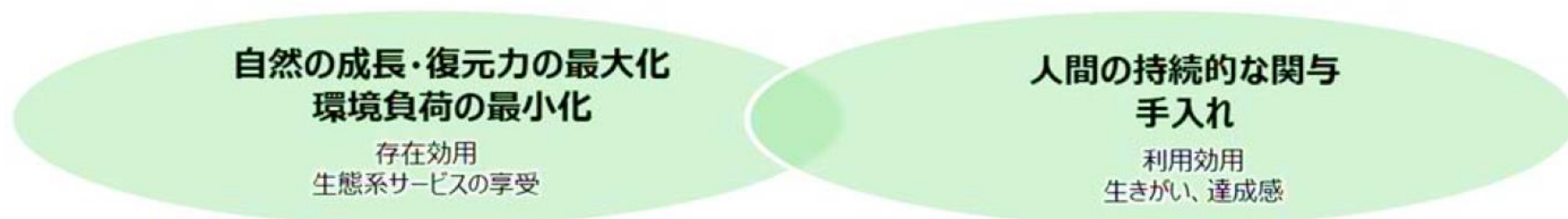
新産業の創出
Co-creation

連携による解決
Co-operation

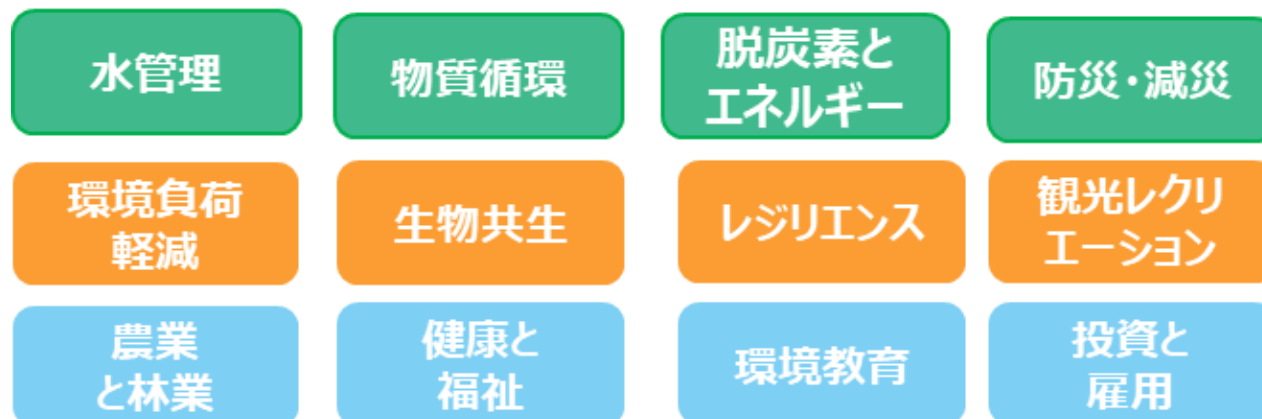
(2) 会場コンセプト

里山で培われた思想・行動が未来を広げ、花と緑が輝き、
人と自然が共に紡ぐ明日の風景（Scene）

- ・ 様々な公益的機能をもたらす空間として
存在効用（ハード）と利用効用（ソフト）の両面のあり方
を提示していく。



グリーンインフラに期待される主な機能例



■ 基本的な考え方

- ① 大平原の眺望や農のある上瀬谷の自然特性を活用
- ② 日本の里山風景、日本庭園に代表される伝統的思想を取り込む
- ③ 四季の移り変わりや朝夕の時間ごとに表情を変える景観を視認できるよう、高さが異なる多様な視点場の設置
- ④ 歩く楽しみや新たな移動手段により風景の発見を喚起し、移動自体を楽しむ
- ⑤ 花の持つ魅力を最大限に引き出し、鑑賞に限らない花や木、緑の香りなどの要素も含めた五感で感じる景観づくり

1) 開催場所	旧上瀬谷通信施設地区内
2) 開催期間	令和9（2027）年3月～9月
3) 博覧会区域	約100.0ha（会場区域 約80.0ha、駐車場区域及びバスターミナル 約20.0ha）
4) 参加者数	1,500万人（ICT活用や地域連携などの多様な参加形態を含む） （有料来場者数：1,000万人以上）
5) 開催組織	一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会

①庭園等	海外からの公式参加者、国内の民間企業、園芸家、自治体等、様々な参加者による出展庭園や花壇
②庭園等を支える施設	試験植栽圃場、植物ストックヤード等
③展示等の施設	中核展示施設：テーマ等を具現化した展示 屋内展示施設：コンペティション等を開催 催事施設：公式の行催事等を開催 サービス施設：来場者へ各種サービスを提供

【施設の配置・運営上の環境配慮】

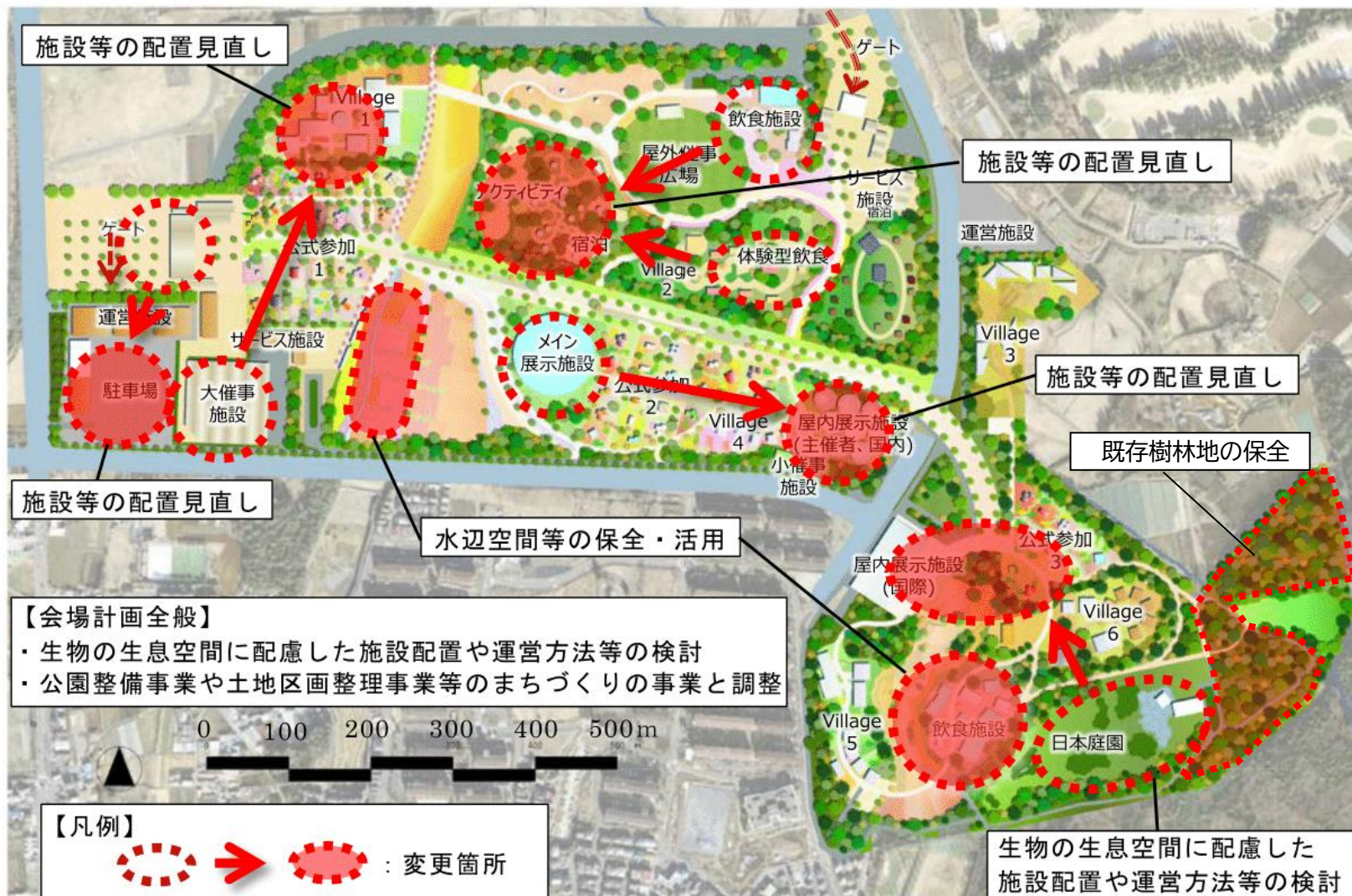
- ・ 将来の公園施設となる恒久施設の活用により、廃棄物等の処分量を削減
 - ・ 隣接する住宅団地や南東側周辺のまとまった緑地等の隣接部への配慮
- ・ 多数の来場者が長時間に亘って滞在するような施設の配置を回避
 - ・ 音響設備の音量、稼働時間についても適切な運営ルールを設定
 - ・ 照明の向きや照度等への配慮など適切な運営ルールを設定



会場配置計画図(令和3年3月時点)

会場配置計画図(主な変更概要)

方法書P.2-13



会場配置計画図(主な変更概要)(令和4年3月時点)

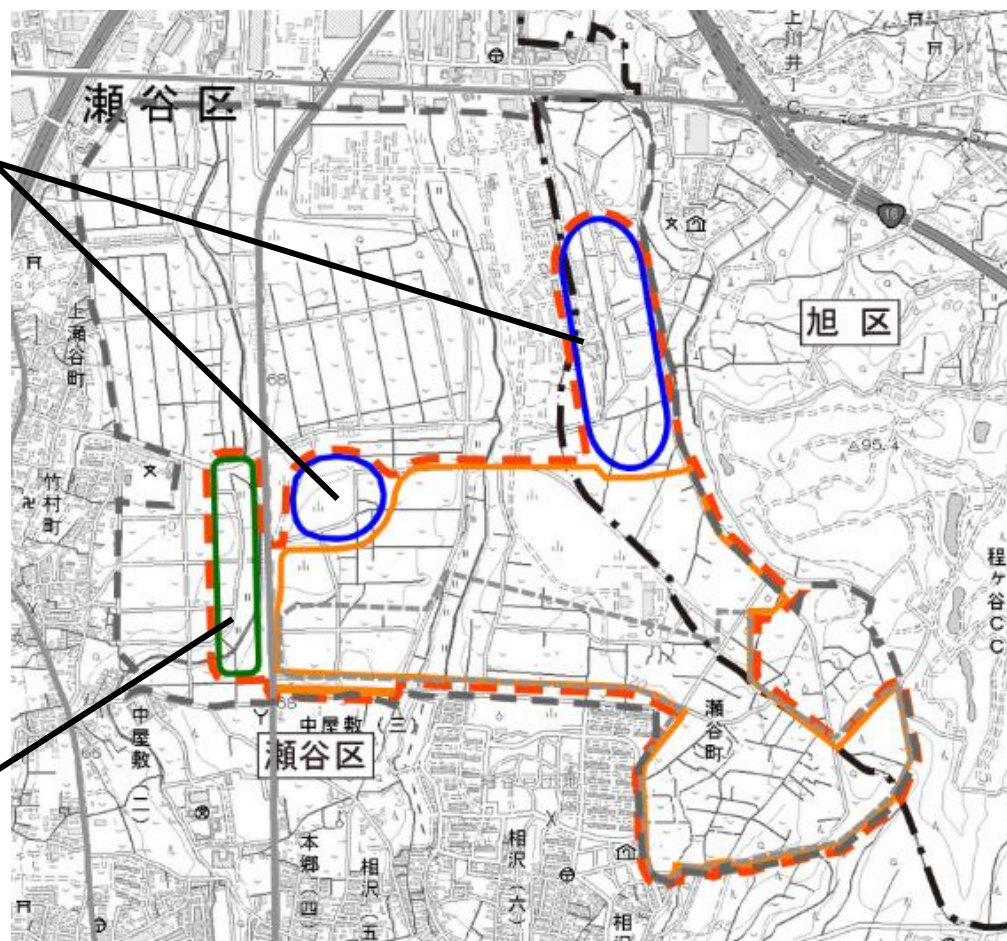
※検討途中の案であり、今後更新される予定

(1) 駐車場区域

- 会場に隣接した約3,000台分の駐車場

(2) バスターミナル

- 会場区域外の西隣接地に設置



- ・「土地区画整理事業」によって整備されるインフラの活用
- ・「公園整備事業」によって整備される園路、広場、植栽等を活用
- ・再生可能エネルギーの積極的活用の検討
- ・植物のたい肥化、食料残渣等を活用したエネルギーの創出など、資源の循環等の検討

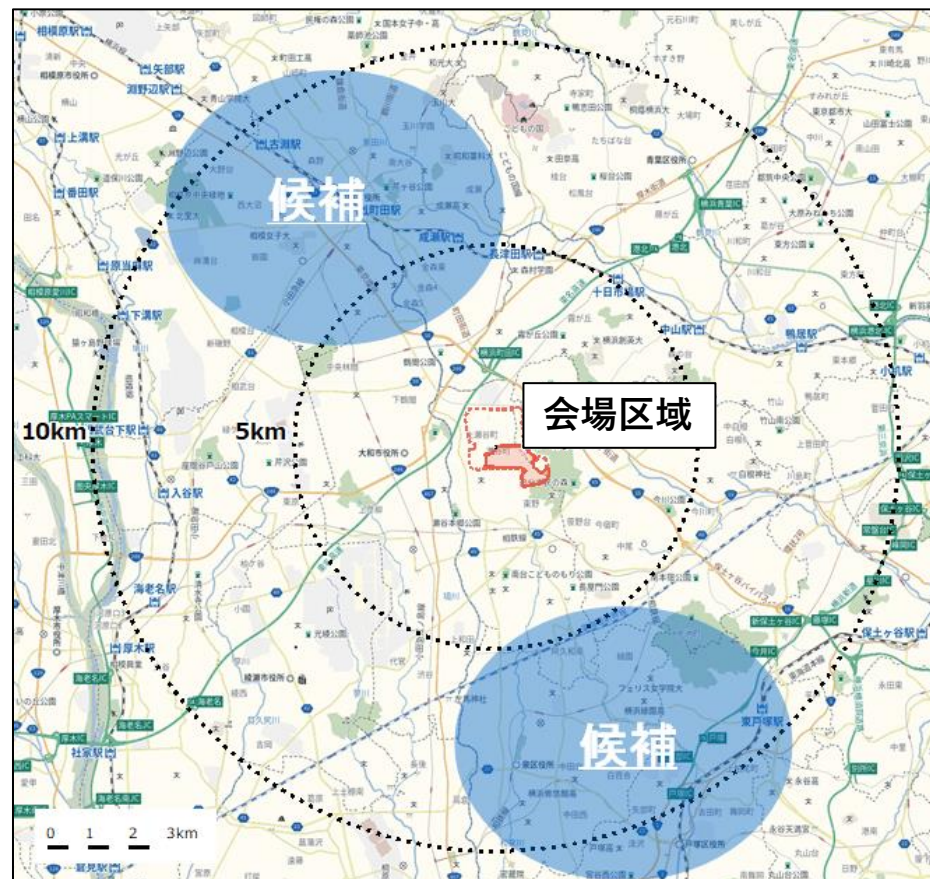
(1) 自家用車、団体バス

1) 対象事業実施区域内駐車場

- ・ 団体バス等含め3000台分
- ・ 事前予約の導入などを実施

2) パークアンドライド

- ・ 概ね10km圏内に複数の
- ・ 自家用車用駐車場を確保
- ・ シャトルバスで輸送



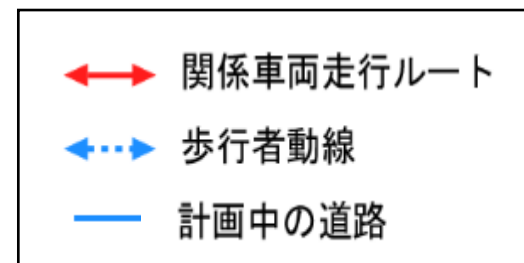
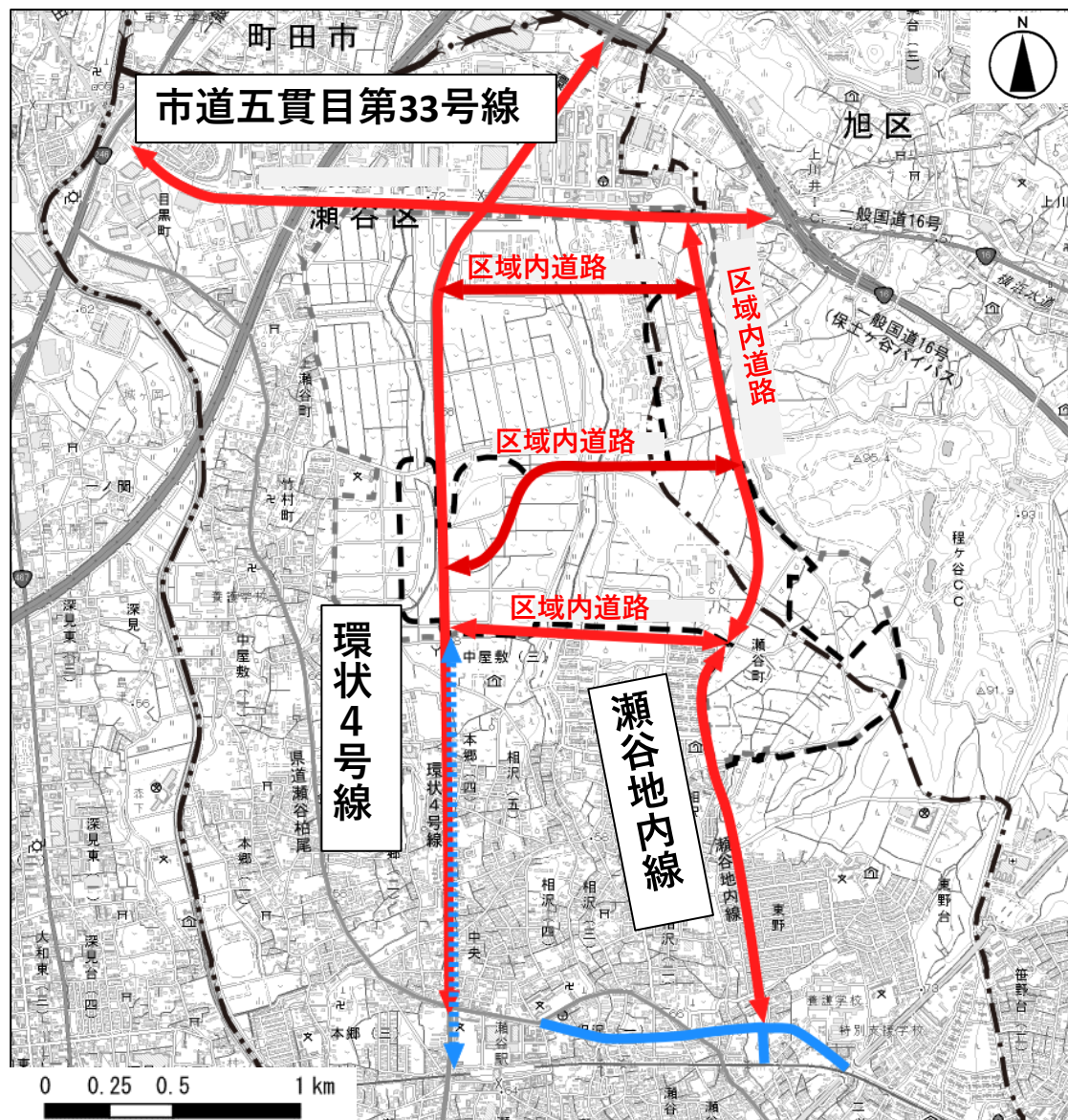
パークアンドライド駐車場候補地のイメージ

(2) 公共交通

- ・ 近隣鉄道駅からシャトルバスを発着
- ・ 路線バスの利用についても想定

(3) 徒歩・自転車等

- ・ 環状4号線の歩道等を経由
- ・ 自転車利用のための駐輪場を整備



注：環状4号線（旧上瀬谷通信施設地区内）の拡幅及び区域内道路の整備は土地区画整理事業により整備

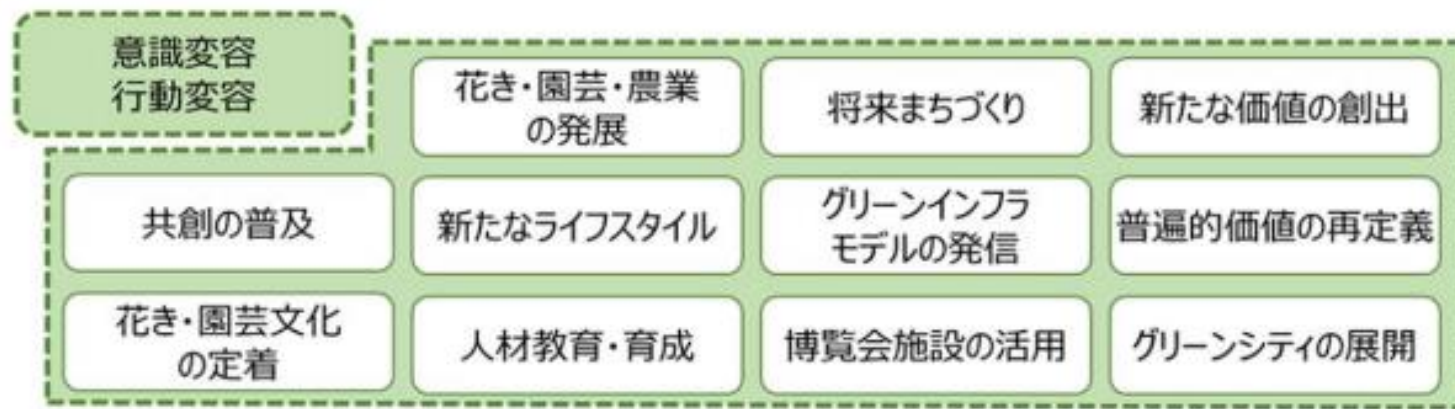
(1) 植栽地管理

- ・ 生態系への影響が懸念される植物の拡散防止
- ・ 生態系への影響が少ない農薬の選定
- ・ 地域住民や来場者による参加

(2) 検疫

- ・ 植物防疫法に基づく検疫等の実施
- ・ ガイドラインを策定と参加国への周知徹底

- ・ 公園施設などを有効活用し、街全体へ継続・発展
- ・ 公園整備事業等の関連事業との連携



レガシーの方向性

造成工事及び基盤整備
(土地区画整理事業)



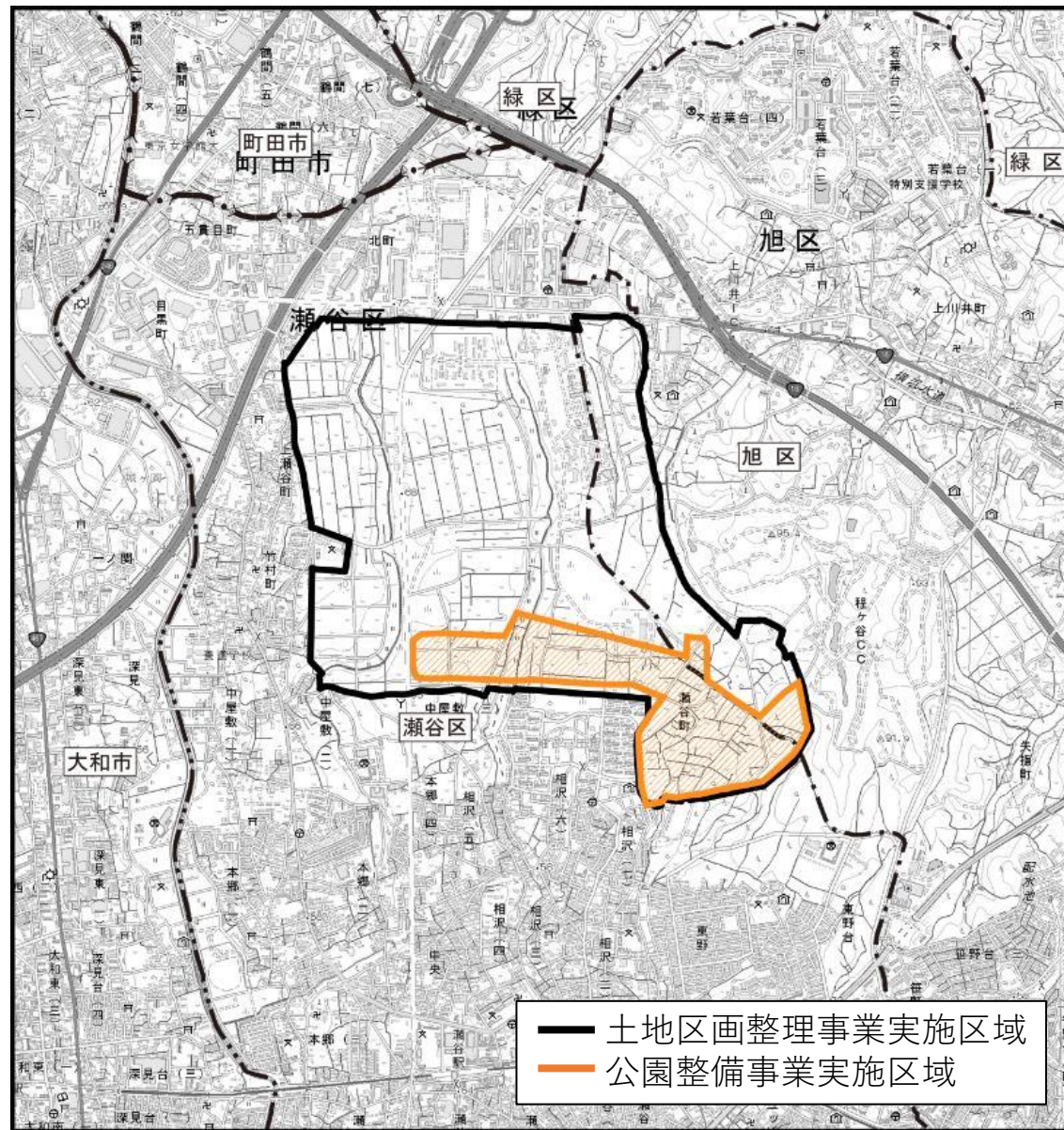
施工計画

方法書P.2-21~2-23

造成工事及び基盤整備
(土地区画整理事業)

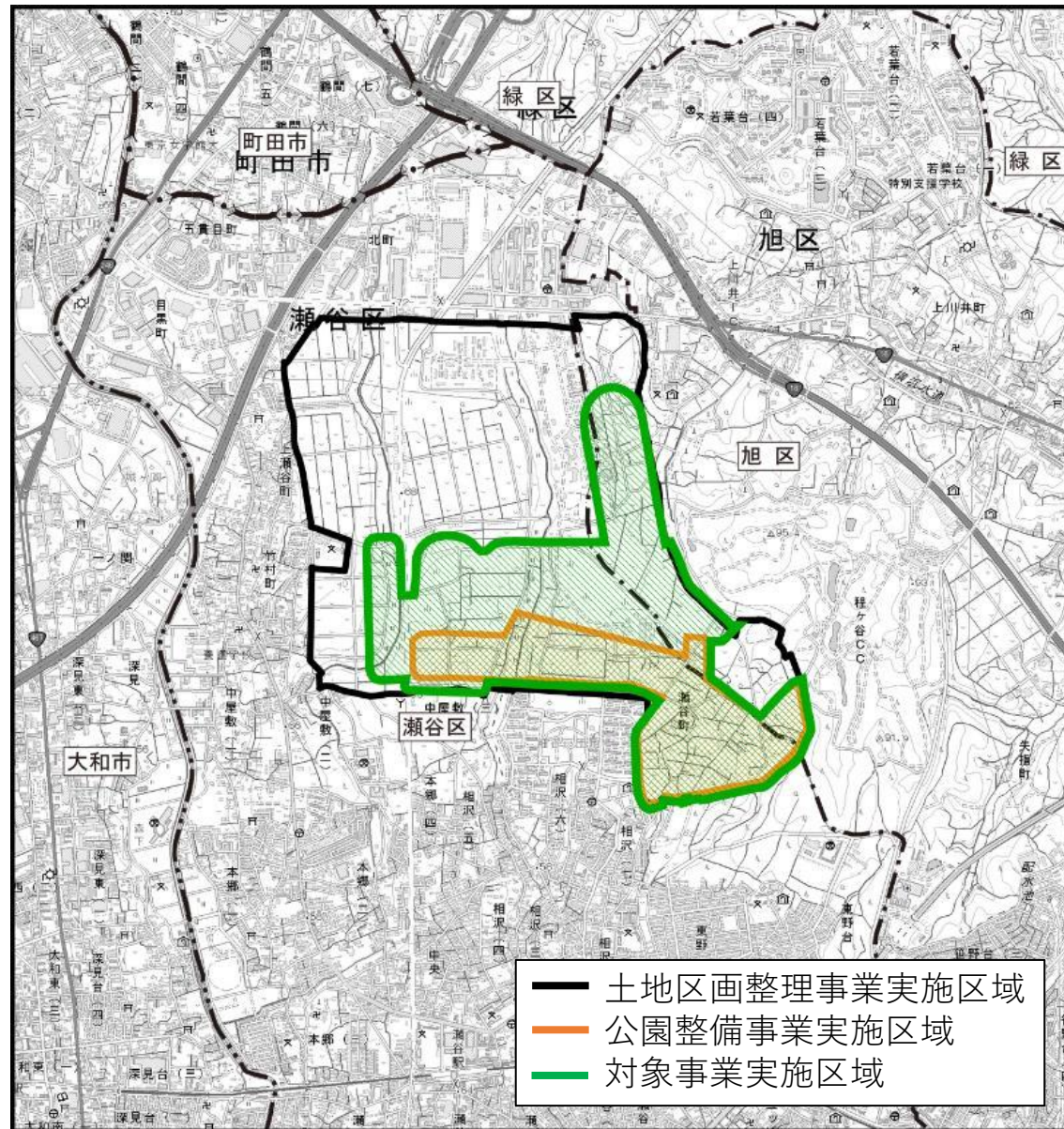


園路、広場、植栽等の整備
(公園整備事業)



施工計画

方法書P.2-21～2-23



造成工事及び基盤整備
(土地区画整理事業)



園路、広場、植栽等の整備
(公園整備事業)
※博覧会時は一時中断



仮施設等整備
※開催後撤去・復旧
(国際園芸博覧会)

- ・ 土地区画整理事業、公園整備事業と整合を図り、順次着工
- ・ 博覧会後は、仮施設設等の撤去・復旧工事を実施
- ・ 建設機械の稼働や、車両の走行等について平準化を図るなど、
工事による環境負荷低減に向けた対策を検討

本博覧会の工事工程(予定)

工種種別	令和								
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度
	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
着工準備期間									
準備工									
基盤整備工									
植栽工									
設備工									
園路広場工									
施設整備工									
出展整備工									
撤去・復旧工									

着工
開始

撤去
復旧

2027年国際園芸博覧会

3 調査、予測及び評価について

環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

方法書P.5-1

■ 工事中

環境影響要因	要因の概要
<u>建設機械の稼働</u>	・ 建物の建築や施設の整備等の工事のため、建設機械が稼働
<u>工事用車両の走行</u>	・ 資機材の運搬、廃棄物等の搬出及び施設の管理等を行う車両が走行
<u>建設行為等の実施</u>	・ 建物の建築や施設の整備等の工事を実施 ・ <u>庭園等の整備に伴い、外来植物を含む植物の搬入・植栽・管理を実施</u>

環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

方法書P.5-1

■ 開催中

環境影響要因	要因の概要
<u>会場施設等の存在</u>	・ 展示・サービス施設、花壇、庭園、駐車場及びバスターミナル等が存在 ・ 土地区画整理事業において創出された水辺空間等が存在
<u>施設の供用</u>	・ 来場者及び施設管理関係者等の施設利用 ・ 会場内で様々な行催事等を開催 ・ 施設の管理・運営作業等を実施
<u>関係車両の走行</u>	・ 来場者の自家用車、シャトルバス及び団体バス等の車両が走行 ・ 資機材の運搬、廃棄物等の搬出及び施設の管理等を行う車両が走行
外来植物を含む植栽等の管理	・ 外来植物を含む植物の搬入・植栽・管理

環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

方法書P.5-1

■ 撤去中

環境影響要因	要因の概要
<u>建設機械の稼働</u>	・ 仮施設等等の解体工事のために建設機械が稼働
<u>工事用車両の走行</u>	・ 撤去物や廃棄物の搬出のため、車両が走行
<u>仮施設等等の撤去</u>	・ 仮施設等の解体・撤去、搬出を実施

環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

方法書P.5-2

■ 工事中

環境影響評価項目		環境影響要因		
	細目	建設機械の稼働	工事用車両の走行	建設行為等の実施
温室効果ガス		○	○	○
生物多様性	動物／植物／生態系	—	—	○
水循環	地下水位及び湧水の流量	—	—	○
廃棄物	一般廃棄物	—	—	○
	産業廃棄物	—	—	○
大気質	大気汚染	○	○	—
騒音		○	○	—
振動		○	○	—
地域社会	交通混雑	—	○	—
	歩行者の安全	—	○	—
触れ合い活動の場		—	○	—

環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

■ 開催中

方法書P.5-2

環境影響評価項目		環境影響要因			
	細目	会場施設等の存在	施設の供用	関係車両の走行	外来植物を含む植栽等の管理
温室効果ガス		—	○	○	○
生物多様性	動物／植物／生態系	○	○	—	○
水循環	地下水位及び湧水の流量	○	—	—	—
	河川の形態、流量	—	—	—	○
廃棄物	一般廃棄物	—	○	—	○
	産業廃棄物	—	○	—	○
大気質	大気汚染	—	—	○	—
騒音		—	○	○	—
振動		—	—	○	—
地域社会	交通混雑	—	—	○	—
	歩行者の安全	—	—	○	—
景観		○	—	—	—
触れ合い活動の場		—	○	○	—

環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

方法書P.5-2

■ 撤去中

環境影響評価項目		環境影響要因		
	細目	建設機械の稼働	工事用車両の走行	仮設施設等の撤去
温室効果ガス		○	○	—
生物多様性	動物／植物／生態系	—	—	○
廃棄物	一般廃棄物	—	—	○
	産業廃棄物	—	—	○
大気質	大気汚染	○	○	—
騒音		○	○	—
振動		○	○	—
地域社会	交通混雑	—	○	—
	歩行者の安全	—	○	—
触れ合い活動の場		—	○	—

関連事業の調査結果の活用

- 土地区画整理事業及び公園整備事業において実施された現地調査の結果を引用

環境影響評価項目	調査結果を引用する関連事業	
	土地区画 整理事業	公園整備 事業
温室効果ガス	—	—
生物多様性	○	○
水循環（湧水の流量、河川の流量）	○	○
廃棄物・建設発生土	—	—
大気質	○	—
騒音	○	—
振動	○	—
地域社会 （交通混雑、歩行者の安全）	○	—
景観	○	○
触れ合い活動の場	○	—

温室効果ガス

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・ 既存資料の収集整理

【調査項目】

- ・ 温室効果ガスに係る原単位
- ・ 排出抑制対策の実施状況

【予測項目】

《工事中》

- ・ 建設機械の稼働に伴う排出量
- ・ 工事用車両の走行に伴う排出量
- ・ 庭園等を整備する際の植栽管理に伴う排出量

《開催中》

- ・ 関係車両の走行に伴う排出量
- ・ 施設の供用に伴う排出量
- ・ 植物ストックヤード等における植栽管理に伴う排出量

《撤去中》

- ・ 建設機械の稼働に伴う排出量
- ・ 工事用車両の走行に伴う排出量

生物多様性（動物、植物、生態系）

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・ 既存資料の收集整理
(土地区画整理事業)

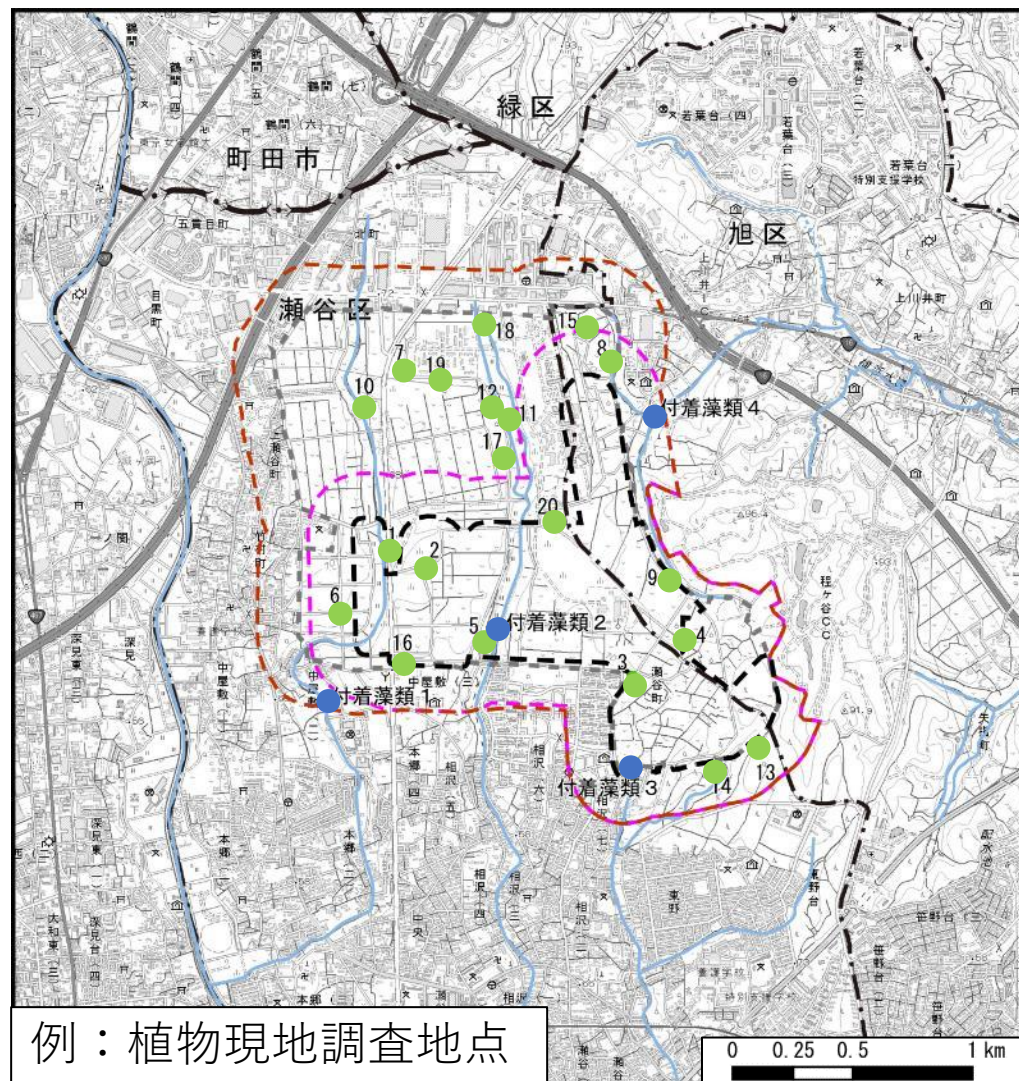
【調査項目】

- ・ 動物の状況
(哺乳類、鳥類、両生類及び爬虫類、昆虫類、クモ類、陸産貝類、魚類、底生動物)
- ・ 植物の状況
(陸生植物、水生植物)
- ・ 生態系の状況

【予測項目】

- 《工事中・開催中・撤去中》
- ・ 間接的影響の程度を予測

- 調査地域（動物・植物）
- 予測地域（動物・植物）
(舗装地等人工改变地を除く)
- 植物群落（コドラート）
- 付着藻類（任意・定量）



水循環（湧水の流量、河川の流量）

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・ 既存資料の収集整理
（土地区画整理・公園整備事業）

【調査項目】

- ・ 湧水の分布、流量及び水質
- ・ 河川の形態及び流量

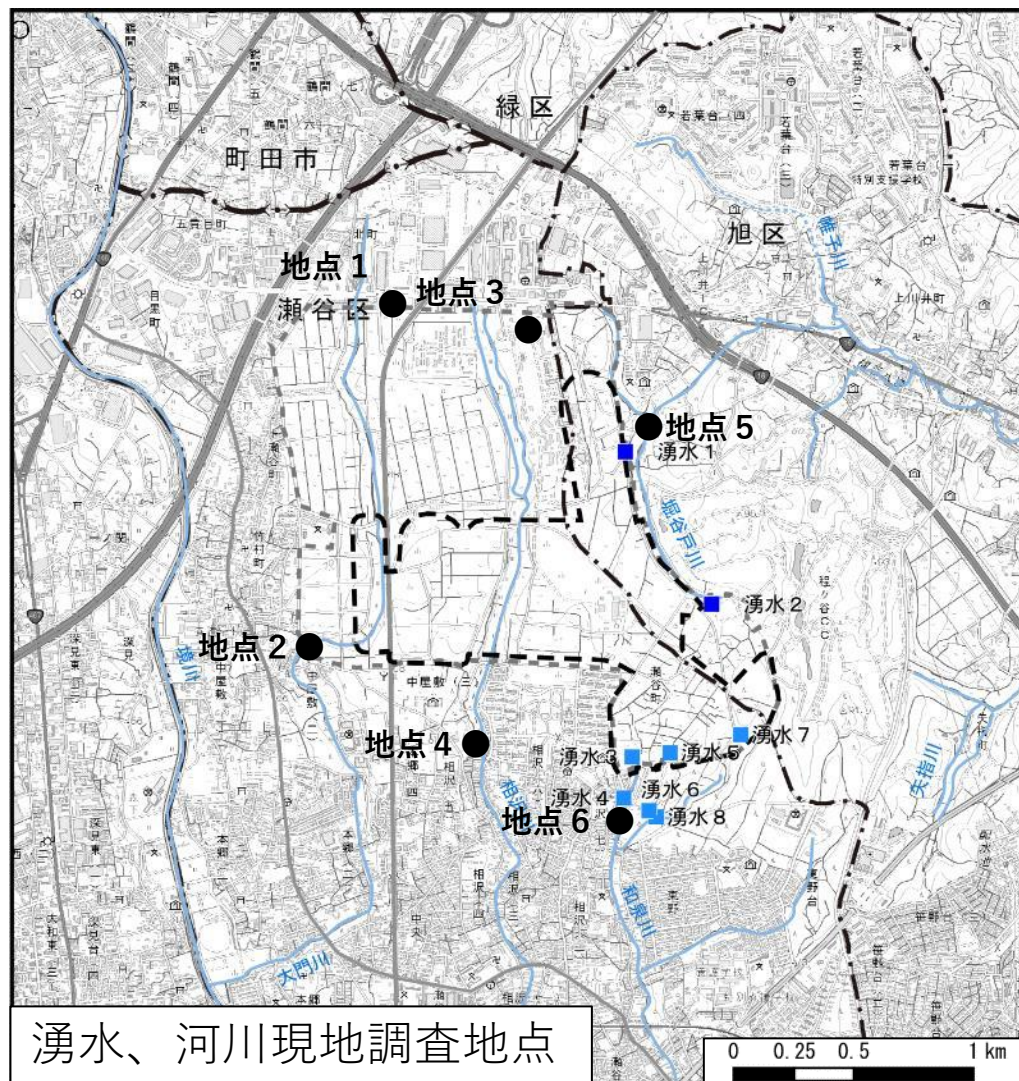
【予測項目】

- 《工事中》
- ・ 湧水の改変の程度、流量への影響
- 《開催中》
- ・ 湧水の流量への影響
- ・ 河川の流量への影響

■ 1～2 湧水調査地点（土地区画整理事業）

■ 3～8 湧水調査地点（公園整備事業）

● 河川調査地点



調査・予測の内容

廃棄物

【調査方法】

- ・ 既存資料の収集整理

【調査項目】

- ・ 廃棄物の処理処分の状況

【予測項目】

《工事中》

- ・ 建設行為の実施に伴う一般廃棄物、産業廃棄物の発生量及び最終処分量

《開催中》

- ・ 施設の供用に伴う一般廃棄物、産業廃棄物の発生量及び最終処分量
- ・ 植栽の管理に伴う一般廃棄物、産業廃棄物の発生量及び最終処分量

《撤去中》

- ・ 仮設施設等の撤去に伴う一般廃棄物、産業廃棄物の発生量及び最終処分量

大気質

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・既存資料の收集整理
(土地区画整理事業等)

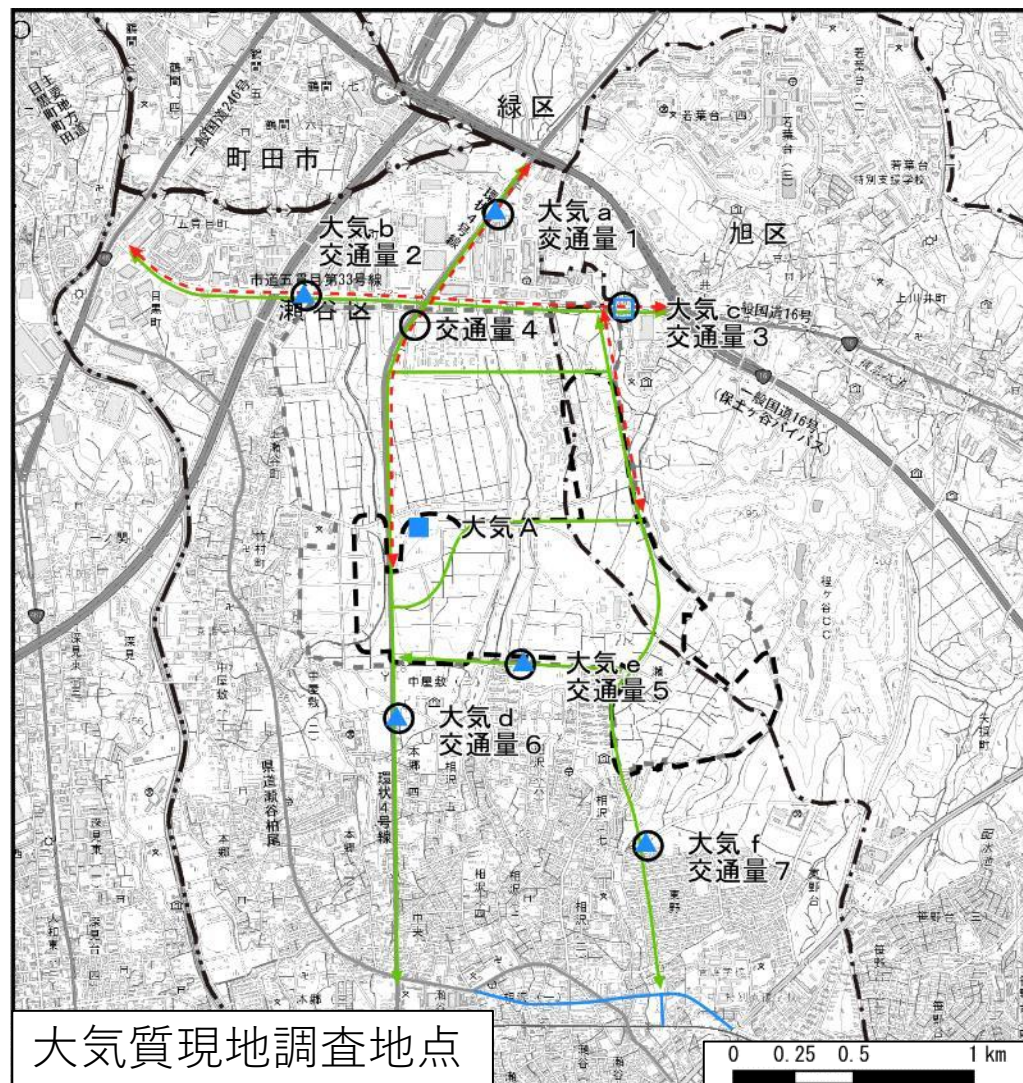
【調査項目】

- ・大気質の状況 (NO_x、SPM)
- ・気象の状況
- ・大気汚染物質の主要な発生源

【予測項目】

- 《工事中・撤去中》
- ・建設機械の稼働に伴う大気質濃度
- ・工事用車両の走行に伴う大気質濃度
- 《開催中》
- ・関係車両の走行に伴う大気質濃度

- ◀--▶ 工事用車両の走行ルート
- ◀--▶ 関係車両走行ルート
- 沿道大気 (公定法・簡易法)
- 一般大気 (公定法)、地上気象
- ▲ 沿道大気 (簡易法)
- 交通量
- 計画中の道路



騒音・振動

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・ 既存資料の収集整理
(土地区画整理事業)

【調査項目】

- ・ 一般環境騒音・振動
- ・ 道路交通騒音・振動
- ・ 騒音振動の主要な発生源

【予測項目】

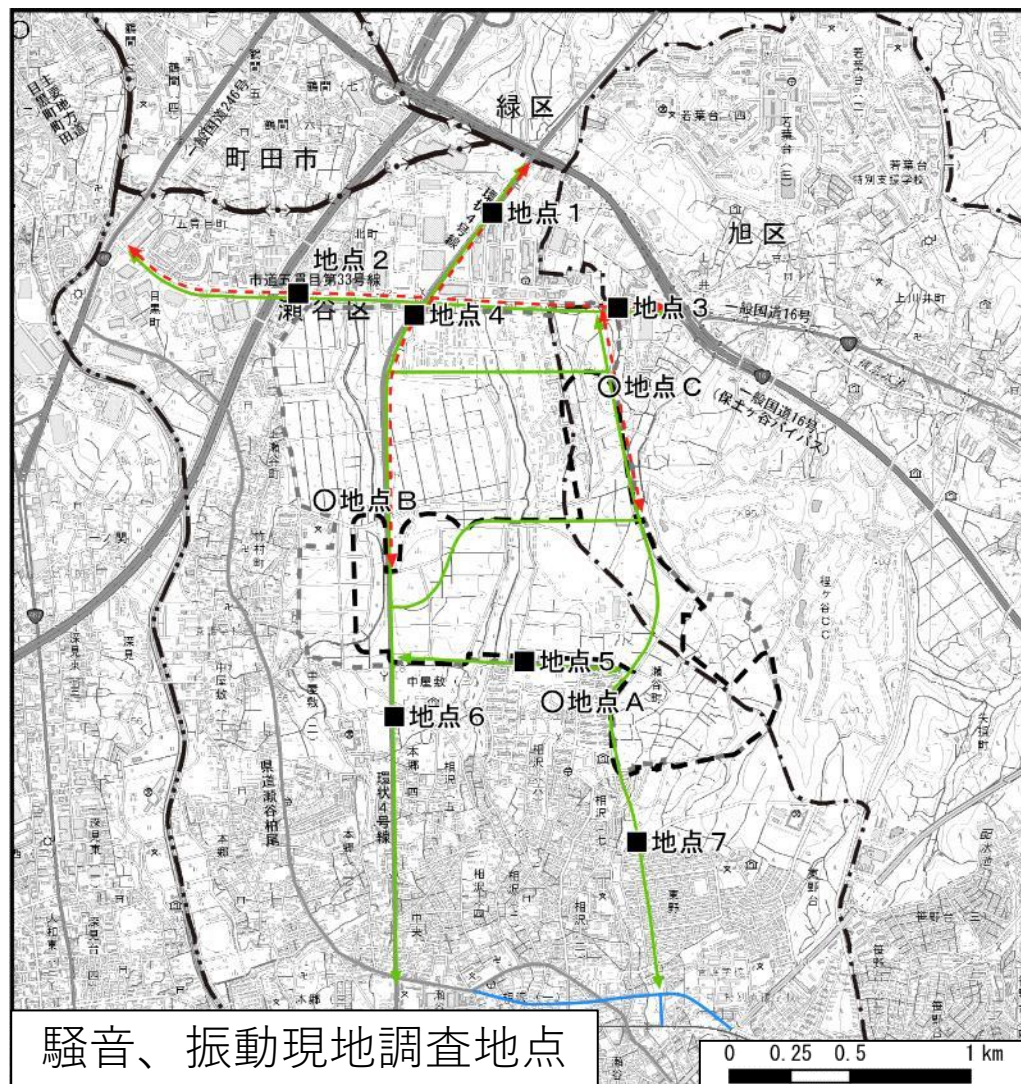
《工事中・撤去中》

- ・ 建設機械の稼働に伴う騒音・振動
- ・ 工事用車両の走行に伴う騒音・振動

《開催中》

- ・ 行催事の実施に伴う騒音
- ・ 関係車両の走行に伴う騒音・振動

- ◄--► 工事用車両の走行ルート
- ◄--► 関係車両走行ルート
- 一般環境騒音
- 道路交通騒音、断面交通量
- 計画中の道路



地域社会（交通混雑、歩行者の安全）

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・ 既存資料の収集整理
(土地区画整理事業)

【調査項目】

- ・ 日常生活圏の状況
- ・ 地域交通の状況
- ・ 歩行者の状況

【予測項目】

- 《工事中・撤去中》
- ・ 工事用車両の走行に伴う交通混雑
- ・ 〃 歩行者・自転車の安全
- 《開催中》
- ・ 関係車両の走行に伴う交通混雑
- ・ 〃 歩行者・自転車の安全

←→ 工事用車両の走行ルート

↔ 関係車両走行ルート

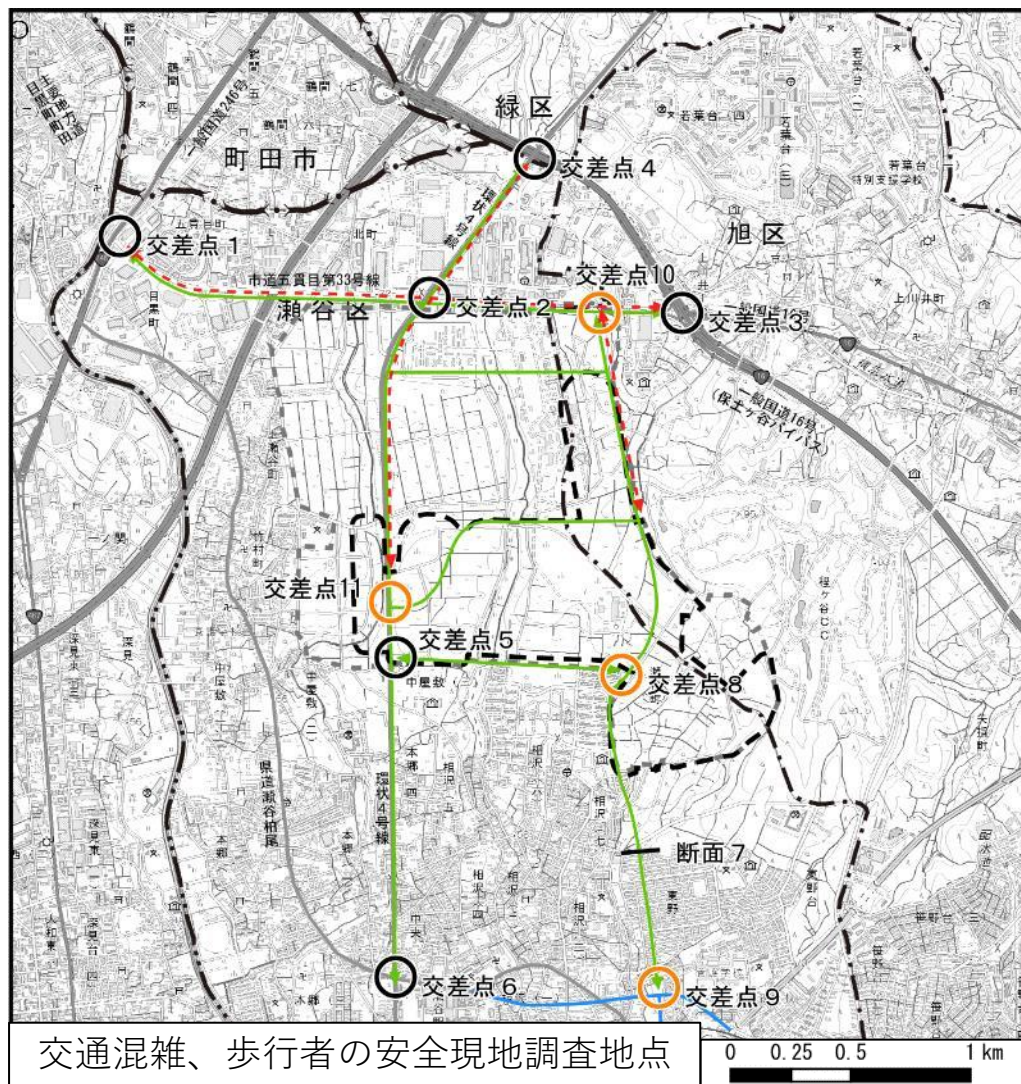
○ 調査・予測地点

(自動車交通量、交通混雑、歩行者の安全)

○ 予測地点(自動車交通量、交通混雑、歩行者の安全)

— 調査・予測地点(自動車断面交通量)

— 計画中の道路



景観

調査・予測の内容

【調査方法】

- ・ 既存資料の収集整理
(土地区画整理、公園整備事業)

【調査項目】

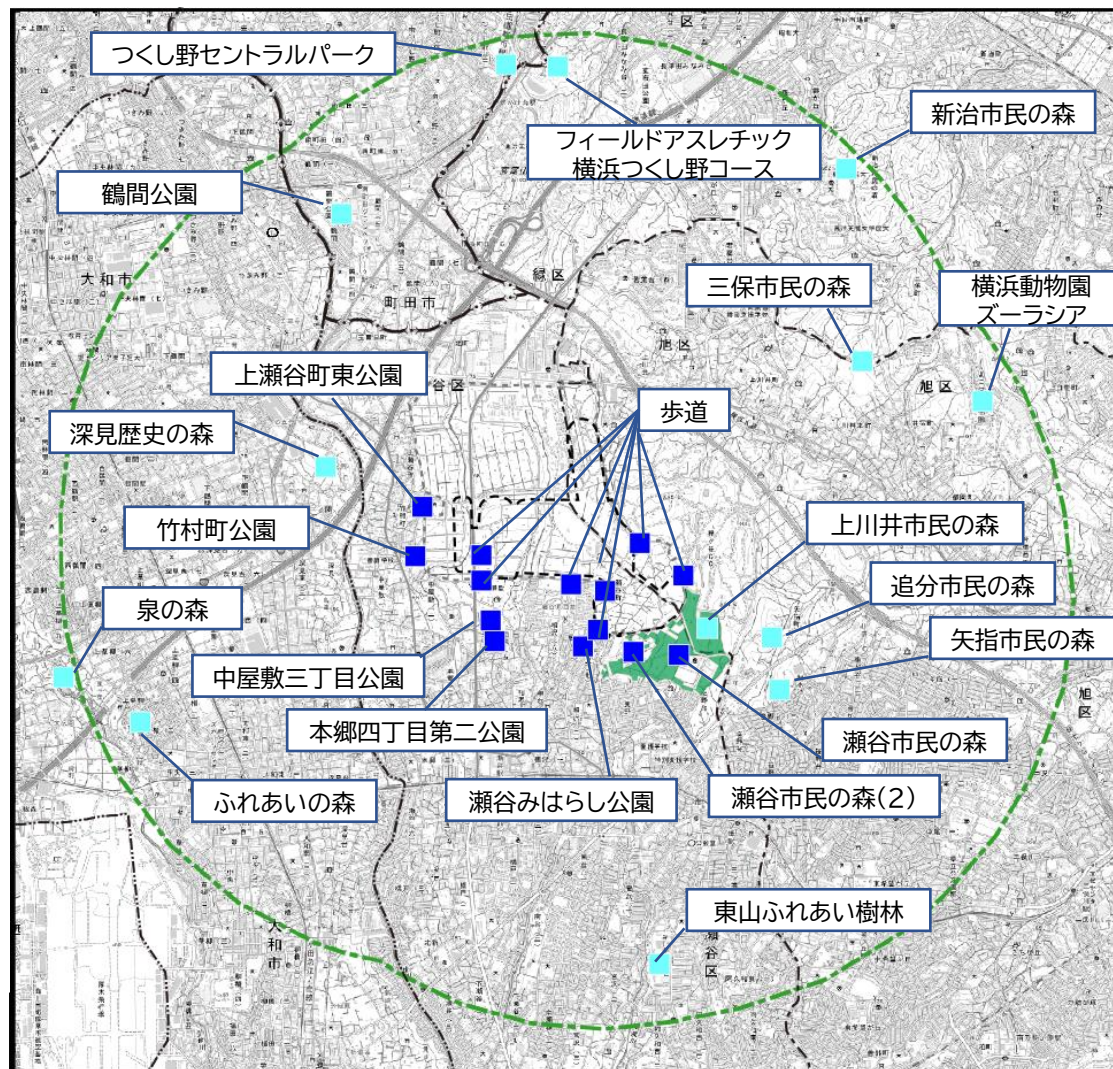
- ・ 地域景観の特性
- ・ 主要な景観資源の状況
- ・ 主要な眺望地点からの景観

【予測項目】

《開催中》

- ・ 施設の存在により変化する景観の状況

- 主要な眺望地点
- 主要な眺望地点
(会場を視認できない)
- 対象事業実施区域から3kmの範囲
- 主な圍繞景観の構成要素



調査・予測の内容

触れ合いの活動の場現地調査地点

環境の保全等に関して、

- ・ 横浜市の計画及び指針等の中で設定している目標
- ・ 法令等で定められている基準
- ・ 環境に著しい影響を及ぼさない水準 ...等を踏まえ



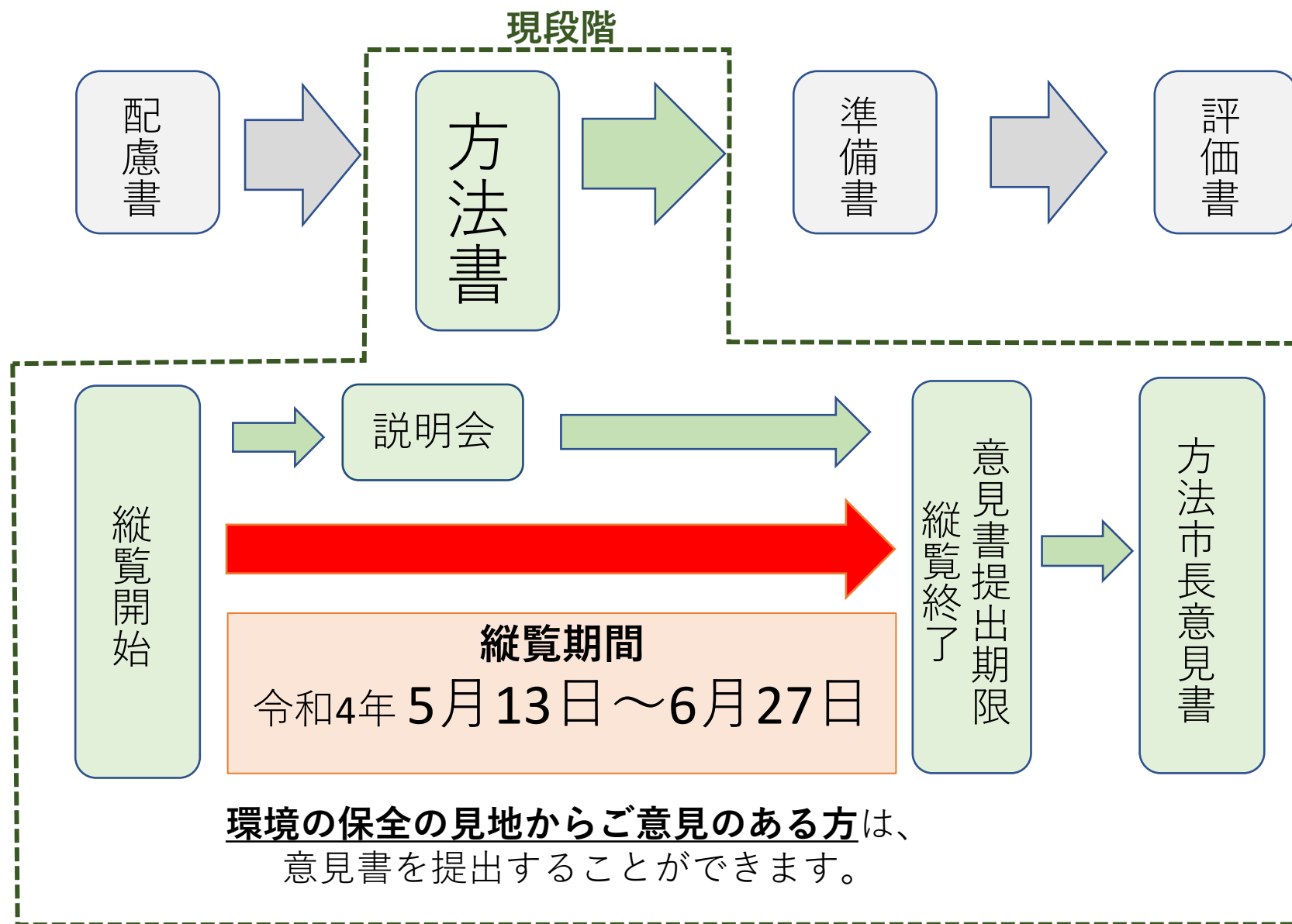
「環境保全目標」を設定

「環境保全目標」と予測結果と対比することにより評価

結果等については、今後作成・公表する準備書にてお示しします。

4 図書縦覧及び意見書の提出

方法書の縦覧及び意見書の提出



方法書の縦覧

【期間】

令和4年 5月13日（金）から

令和4年 6月27日（月）まで

※土・日・祝日を除く

【場所】

- ① 環境創造局環境影響評価課
- ② 瀬谷区役所区政推進課広報相談係
- ③ 旭区役所区政推進課広報相談係

【時間】

午前8時45分～午後5時

（①は午後5時15分まで）

方法書の閲覧

【期間】

令和4年 **5月13日**（金）から

【場所】

- ① 中央図書館
- ② 瀬谷図書館
- ③ 旭図書館

【横浜市ホームページでの公開】

横浜市 アセス



意見書の提出

【提出期限】

令和4年 **6月27日**（月）まで
（窓口での受付は、土・日・祝日を除く）

【提出方法】 AまたはBの方法で提出してください。

A：縦覧場所窓口で配布している意見書用紙にご記入の上、持参または郵送

→ 提出先 **環境創造局環境影響評価課**

B：電子申請で提出

配布資料のQRコードより、横浜市ホームページ
（環境創造局環境影響評価課）にアクセスください。

ご清聴ありがとうございました